

Features

特色

平和学習 ×

トランスランゲージング

Translanguaging

トランスランゲージング

～サマープログラムに「平和学習 × トランスランゲージング」という新しい学びのかたちを～

トランスランゲージングとは、もともとバイリンガル教育の流れを組む教育アプローチで、「学習者がもつ複数の言語や方言を、日本語・英語といった枠で分けるのではなく、ひとつの言語体系として捉え、理解や表現に生かしていく」という考え方です。学習言語の使用中に母語や第一言語が出ること、例えば、日本語の中に英語などが自然に混ざる状態を、「できていない日本語」と捉えるのではなく、その人にとって最も適切な表現として尊重します。こうした環境は、ことばへの不安を和らげ、誰もが安心して学びに参加できる土台となります。このプログラムでは、参加者の母語、第一言語、そして日本語を意図的に組み合わせた活動を取り入れ、言語運用能力の向上を図るとともに、自分自身の言語や文化のあり方を振り返る機会を大切にします。また、広島を学びの舞台とした平和学習も特色の1つです。日本にルーツをもつ若者が、広島で平和と向き合い、対話を重ねる経験は未来へ平和のメッセージをつないでいく大切な一歩となります。プログラムを通じて、日本語や日本文化への理解を深めるとともに、言語と文化の多様性を尊重する視点を育てます。

日本とのつながりを持ち続けてほしい

01



2025年、海外で生活する日本にルーツを持つ子どもたちのための「日本語・日本文化サマープログラム」をスタートしました。現在、海外で暮らす日本人は約129万人。保護者の仕事やライフスタイルなど、さまざまな事情から海外で生活する子どもたちが増えています。遠く日本を離れていても、日本とのつながりを大切にしてほしい。同じ境遇にある「仲間」と出会い、想いを共有することで、さらに一歩踏み出すきっかけとしてほしい。このプログラムには、そんな願いが込められています。本プログラムは、弊センターの日本語講師がこれまでの経験と知識を最大限に活かしてデザインしたものです。子どもたちが自らのルーツにより深い興味と関心を抱き、日本語や日本文化の体験がからだの奥底に眠る懐かしさを呼び覚ますと同時に新たな発見につながる、そんな機会を提供いたします。

公益財団法人ひろしま国際センター

常務理事 西田 敏啓

Program Schedule

プログラム日程

仲間と一緒に1週間の体験型学習をコンプリート！

プログラム1日目は、自己紹介ゲームやグループ対抗の盆踊りコンテストなど、参加者同士のチームビルディングにたっぷり時間をかけます。2日目からは学校体験、平和学習、キャンプなどの体験型学習が、事前学習と振り返りを行う日本語クラスを挟みながら進んでいきます。最終日には感じたことや学んだことを発表する場があり、会場だけでなくオンラインを通して、ご家族やご友人とこの1週間のプログラムをシェアしていただけます。修了書を受け取れば、プログラムコンプリートです！

〈プログラム日程〉

日にち	9:30-10:20	10:30-11:20	11:30-12:20	13:30-14:20	14:30-15:20	15:30-16:20	16:30-
7/6 (月)	開講式 生活オリエンテーション		チームビルディング アクティビティ		文化体験「日本の夏休み」 盆踊りコンテスト		
7/7 (火)	日本語①	日本語②		文化体験「日本の夏休み」 学校体験			
7/8 (水)	日本語③	日本語④		平和学習			
7/9 (木)	振り返り	平和学習に 向けて、心と 知識を準備 します。		基礎コース A：平和記念資料館、原爆ドーム、爆心地の見学 基礎コース B：本川小学校資料館、平和記念公園			
7/10 (金)	日本語⑤	日本語⑥	日本語⑦	文化体験「日本の夏休み」 工作	文化体験「日本の夏休み」 浴衣体験	文化体験「日本の夏休み」 祇園まつり	
7/11 (土)	日本語⑧		発表会	閉講式	プログラム修了書授与		

*プログラムは都合により、やむを得ず変更となる場合があります。

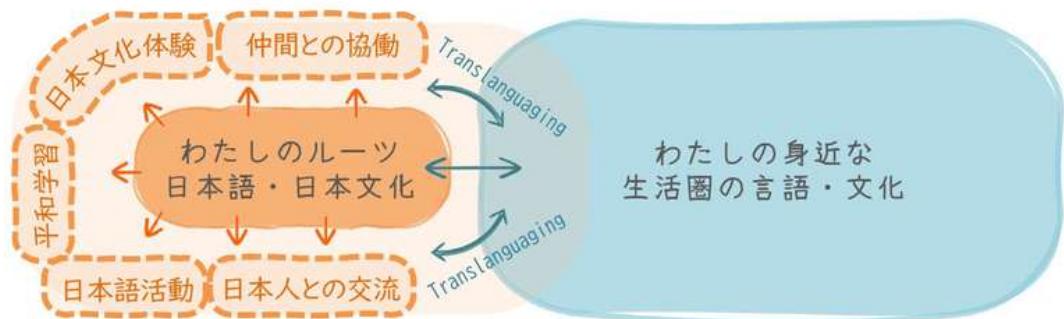


Program Concept

コンセプト

わたしの言語と文化

このプログラムが見つめるのは「わたしの言語と文化」です。自分の中にある言語や文化を、国や地域の境界を超えた「個の言語と文化」として捉え、プログラムを通してそれを押し広げ、より豊かに活用することを学びます。日本文化体験や平和学習など、体験型学習は日本語で行われますが、その前後の日本語クラスでは、学習をより深めるため母語や第一言語の力の活用を促します（Translanguaging）。また、「日本にルーツをもつ」という背景を共有しながら、言語・文化、そして年齢的にも多様な仲間との協働を通して、「個の言語と文化」を客観視し、発展させることを目指します。



Course Goal

- 複言語・複文化主義の観点から、自分の文化や言語のあり様を振り返る。
- 年齢的・言語的・文化的にさまざまな違いがある集団の中で、自分の役割を認識して協働する。
- 広島の原爆被害や復興の歴史を通して、平和について自分なりに思考し、表現する。

Cultural Experience

日本文化体験

日本の夏休みを体験しよう！

毎年テーマを変えてお届けする日本文化体験。今回は「日本の夏休みを体験しよう！」と題して、日本に暮らす子どもたちが夏休みに楽しむものを集めました。また、広島の中学校を訪問して、学校体験をするとともに、地元の中学生と交流します。日本文化体験を通して、日本語や日本文化への親しみや好奇心が高まり、理解も一層深まります。



Peace Education

平和学習

深化する平和学習

広島には、平和学習の資源と歴史が蓄積されています。1回の広島滞在で、すべて受け止めることはなかなか難しい…そこで、5年間のカリキュラムを用意しました。はじめてプログラムに参加する方は、平和記念資料館と原爆ドームを見学する、「原爆被害を知る」（1年目）から始めます。2回目以降は参加回数に応じたカリキュラムで、少しづつ学びを深化させます。さらに、4年目からは継承コースで、「平和に向けて自分たちができること」について、みんなで考えていきましょう。

〈平和学習イメージ〉

【1年目】

原爆被害を知る

- ・平和記念資料館
- ・原爆ドーム

基礎コース 『見る・聞く・知るを通して平和について考える』



基礎コースでは、平和記念資料館をはじめ、広島に残されている「もの」や「記憶」を実際に見に行くよ。3年目には、広島が原爆被害からどうやって復興したのかを学んで、平和について考えよう。

【2年目】

エピソードを通して被害を知る

- ・「原爆の子の像」－禎子さん
- ・「本川小学校資料館」－智津子さん

【3年目】

復興について知る

- ・お好み焼き博物館
- ・広島カーブ「樽募金」
- ・水道資料館

【4年目】

継承活動について考える

被爆者講和を聴いて、継承活動の現状についても考えます

継承コース 『平和に向けて自分たちができることを考える』



広島では、戦後80年が過ぎた今でも、原爆と平和について語り継いでいく活動が続けられているよ。実際に体験してみて、「私たちにできること」を一緒に考えていこう！

【5年目】

平和について考える

被爆体験朗読会に参加し、平和に向けて自分たちができることについて考えます

Q&A

Q：5年間継続して参加する必要がありますか。1年だけの参加は可能でしょうか。

A：1年のみの参加も可能です。継続してご参加いただくことで、学習が深まるようデザインされておりますが、いずれも1回完結型です。状況に合わせて、ぜひお気軽にご参加ください。

Q：はじめて参加します。初参加者が少ない場合でも、1年目のカリキュラムは実施されますか。

A：はい、参加人数が少ない場合でも、参加回数に応じたカリキュラムをお受けいただけます。参加者同士のピア・グループ学習も重視しており、平和学習の事前および事後学習は、ほかのメンバーと協働するなど、少人数のデメリットが出ないよう、対応いたします。

Safety & Care

保護者にも安心なサポート体制



プログラム中の写真共有

プログラム期間中、隨時参加者の様子を撮影し、共有フォルダで公開します。離れた場所からでも、お子さんの様子を毎日ご覧いただけます。

(無料ダウンロード可)

*肖像権使用に承諾されない場合は、撮影・掲載を控えます。
*プログラム全体の様子をお伝えするもので、参加者全員の撮影を保証するものではありません。

専任日本語講師による学習デザイン プログラムスタッフが同行・常駐

弊センターの専任日本語講師が、日本語教育・異文化間教育の観点から学習をデザイン、実施いたします。プログラム期間中は、プログラムスタッフが24時間体制で常駐し、緊急時の対応や困りごとの相談に乗るなど、参加者が元気で安全に過ごせるよう、万全のサポートを行います。

ご家族の宿泊も可能

海外を拠点に生活されている皆さんは、必ずしも日本に滞在する場所があるとは限りません。また1人で宿泊させるのはちょっと心配、どんなところで過ごすのか見てみたい等、ご家族の心配は尽きません。プログラム期間中はご家族も宿泊ができます。また、遠方からお越しになる方は、前泊や後泊も可能です。

02
トピック



同じ境遇の仲間が、日本語学習の原動力になる

「子どもたちにはグローバルな教育を受けてほしい」一方で、「自分たちのルーツである日本や日本語を大切にしてほしい」。海外で暮らしていた当時、子どもたちを現地校やインターナショナルスクールに通わせながら、私はこの二つの思いの間で揺れ続けていました。悩みながらたどり着いたのは、子どもたち自身が「学ぶ意義」を見出すことの大切さです。そして、そのためには、同じ境遇にある仲間との出会いが欠かせないということ。そうした仲間の存在こそが、継続的な学びを支える大きな原動力になるのではないかと感じています。また、この研修を通して出会う子どもたちが、平和都市・広島に集うことの意味。広島から世界へと平和のメッセージを受け継ぎ、未来へと伝えていく担い手として、知識や平和への想いを育んでほしいと願っています。

Application Information

対象者・お申込みについて

プログラム対象者

- ・海外のインターナショナルスクールや現地校に通う11歳～16歳の生徒12名程度
- ・生徒の国籍は問いませんが、両親のいずれかまたは両方が日本国籍を有する
- ・初級レベル(JLPT N4またはCEFR A2)以上の日本語能力がある
- ・日本文化や日本語など、日本とのつながりを維持または深めていきたい
- ～初級レベルとは～
 - ・基本的な日本語を理解することができる
 - ・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる
 - ・相手の助けがあれば、自分の考えや想い、要求を相手に伝えることができる



プログラムにかかるお金

プログラム費用：99,000円

*プログラム費用には宿泊・食事・日本語授業・訪問時の交通費や入場料を含みます

ご家族の宿泊費：7,400円/1泊（税・朝食代込）

最寄空港・駅の広島空港、東広島駅（新幹線）、西条駅（JR在来線）からひろしま国際プラザまでのタクシーを別料金で手配いたします。お申し込みの際にご相談ください。

お申込みからご参加までの流れ

お申込みはこちら>>>



お申込み締切り
2026年6月7日

QRコードを読み取って必要事項をご入力ください。募集人数は12名程度ですが、満席の場合は締切日を早める場合がございます。

お申込み後に、宿泊及び送迎手配の確認フォームをお送りします。

実施約2か月前

催行決定

最少催行人に達した時点
または実施の2か月前

最少催行人数 9名

メールでのご案内

・「参加に関するご案内」に記載された参加費を指定口座へ期日までにお支払いください。お支払いは銀行振込のみとなります。

・「個人情報票」のご提出

*緊急時の連絡先や体調面に関するご申告ください。

実施約1か月前

研修のしおりが到着

メールでのご案内

集合日時・場所・参加者名簿・持ち物や注意事項などを記載した最終確認書面「研修のしおり」をお送りします。

プログラムスタート！

当日の欠席や遅刻は「研修のしおり」に記載の緊急連絡先へご連絡ください。

Cancellation Policy & Emergency Response

キャンセル料と緊急時の対応について

キャンセル料について

お申込みいただいた後に、ご参加者様のご都合によりプログラムをキャンセルされる場合は、受領済みの合計金額より振込手数料を引いた金額を銀行振込にて返金いたします。キャンセルのご連絡をいただいた時期により、返金額が異なりますので、予めご了承ください。ご返金の手順につきましては、キャンセルのご連絡をいただいた際にご案内いたします。

*欠席による参加費用の割引は行いません。また自然災害による弊センターに帰することのできない事由によりプログラムが開催できなかつたり、内容に変更が生じた場合も一切の責任は負わず、返金または損害賠償などの義務は負いません。

キャンセル日	返金率
6月15日～6月27日まで	80%
6月28日～7月4日まで	70%
7月5日	60%
7月6日のプログラム開始前	50%
プログラム開始後の取り消し又は無連絡での不参加	返金なし

事故や体調不良者等への対応

プログラム期間中はHICが費用を負担して「イベント賠償責任保険」に加入します。ただし運営上の不備によるものでない偶然の事故については、補償の対象外です。

プログラム期間中はHICの担当者がHIPに常駐し、体調不良者には適宜対応いたします。慣れない環境で体調を崩すこともあるかもしれません。プログラム参加者には「日本の国民健康保険」、「国内旅行傷害保険」または「海外旅行保険」のいずれかに加入することをお勧めします。治療費などの実費は、参加者が負担します。



*HIC:公益財団法人ひろしま国際センター (Hiroshima International Center) の略称

*HIP:弊センターがある建物名、Hiroshima International Plazaの略称

Accommodation

宿泊施設

HIPがある東広島市は、広島大学のキャンパスを中心に、豊かな自然と学びの環境が調和する学園都市です。HIPは広島県とJICA（Japan International Cooperation Agency）が共同で設置した、世界とひろしまを繋ぐ国際的な活動拠点です。

HIPには120を超える宿泊室、ハラルフードにも対応したビュッフェスタイルのレストラン、長期のプログラムであっても宿泊者が快適に過ごすことができるようレクリエーションルームやジムなどの多目的な施設があります。



Our Programs

HIC実施研修

HICには経験豊富な日本語専任講師が5名常駐しています。これまで海外の高校生や大学生、海外で日本語を教えている大学の先生方、JICA研修員を対象とした日本語初心者から上級者までレベルやニーズなど、ご要望に応じた様々な研修を行ってきました。母語が英語である研修員に限らず、様々な言語を話す様々なバックグラウンドを持つ研修員に対し日本語日本文化研修を実施しています。



フィリピン人高校生 日本語日本文化
体験研修



広島県海外日本語教師養成研修